2022年度　パレット保育園・大倉山　事業報告書

●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1．ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2．ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3．ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉がけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

●保育の方針

「保育所保育方針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1．スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、　保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2．“個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3．自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4．縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5．自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

１．中期事業計画のテーマ

●経営の安定化

●選ばれる保育園づくり

２．園目標

選ばれる保育園づくり

３．原因分析

達成または未達成の原因および次年度への課題
クラスｍｔｇの管理職の参加により充実させることができた 継続しつつ、より質の高い保育を目指せるｍｔｇにしていきたい 毎月実施の個別ミニ面談による、個人目標への内容向上、内容充実した 継続することが最重要だが、目標設定の内容にも、より具体性をもてるようにしていきたい 管理職の仕事内容の分配を可能にしたので、今後も仕事内容の分配を通して、より育成につなげられるように継続していきたい。 地域の未就園児に焦点を当てた見学体験イベントとしての集まりを行えた。今後は頻度や内容にも変化をつけていきたい。

４．開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7：00-20：00
土曜日	7：00-18：00
休園日	日・祝日・12/29～1/3

５．定員数

・利用定員

０歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	合計
9	12	14	15	15	15	70

６．年間行事実施日

月	行事等の名称	対象者
５月１５日	親子リクレーション	園児とその保護者　132 名
６月１２日	個人面談	園児とその保護者　79 名
７月１０日	夏祭り	園児とその保護者　232 名
１１月	パレット学習タイム参観	園児とその保護者（動画配信）
１０月１６日	運動会	園児とその保護者　235

１月１５日	個人面談	園児とその保護者（Zoom か対面）
２月５日	発表会	園児とその保護者　232 名
３月２１日	卒園式	卒園児とその保護者　42 名
３月５日	入園説明会	新入園児とその保護者　9 名
３月２５日	進級説明会	進級園児とその保護者 112 名

７．SDGs に係る取り組み結果

	クラスｍｔｇの充実化により、質の高い保育の実践につながることができた、また食育活動などもコロナの影響が少なくなり可能な限り行うことこができた 継続していく必要性をとても感じ、更なる質の向上につなげていきたい
	全スタッフが休暇を取りやすく、また平等に取得できるよう対応できた。また年間の休暇を決めておくことで見通しが立てられるようにした。
	個別のスタッフ面談を毎月行うことで、スタッフ年間の計画がぶれることなくやり通すことができた 継続の必要性を強く感じるとともに、４～６月の 3 か月は特に必要性を感じたので、この期間の時間設定は、来年度は多くとるようにしていきたい キャリアパスの設定については、なかなか抽選にあたらずに難しい状況が続いている
	地域交流を開始することが出来た、頻度や内容は今後も見直しつつ続けていきたい 回数をもう少し増やしていき、更なる地域とのつながりを強くしていきたい 行政、第三者委員とのつながりをもち、情報共有が必要な際に連携がスムーズにいくようにすることができた。
	品ロスがないように再計算、発注をおこなうことができた。 毎月設備チェックを実施し安心安全な環境を整えることができた。

８．保護者との連携の報告

- コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- 懇談会では、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した
- ・個人面談以外にも必要に応じて個別に面談を行った。
- ・園生活の様子を見ていただけるよう、保育参観を実施した。
  普段の様子を現地で見る際には、人数制限をしていくことで観覧のしやすさがあったが、両親が観覧となると混雑もあり、バランスを考えていきたい。
- ・感染症拡大により保護者の参加が難しい行事については、動画配信や写真販売を行い、子どもたちの様子を伝えられるようにした。
- ・感染症対策により、人数制限や対面で接する時間が少なくなっているため状況に合わせて都度判断していく。

９．第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ５年に１回、第三者評価を受審
- 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施（そこでの課題や対策も記載）
- 園の自己評価を行い、園の取り組みや課題対策について全スタッフで意見交換をおこなった。
  環境整備については、
- 環境設備チェックでは、節電の意識を持って可能な限り対応することやペーパータオルを必要枚数で使用する声かけなど改善点があげられた。省エネを心がける意識を全スタッフが持てるように全体周知していった。

10．セルフモニタリングの実施報告

- 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- 職員会議や昼礼で、共有した
- 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった

・事故の振り返りシートを作成。再発防止策については、複数のスタッフで考えながら再発防止に努めていった。

11．苦情対応・解決の取組

- 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- 第三者委員の連絡先を掲示した

12．職員の研修

- 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- 姉妹園での保育士の交換保育・視察研修をおこなった
- 給食、事務スタッフは年２回の全体研修を実施した
- ・新卒スタッフの育成担当者を決め、育成計画シートを活用しながら計画的に育成をおこなった。
- ・キャリアアップ研修を受講し、受講したスタッフは園内研修でフィードバックをおこないスタッフのスキルアップを目指した。

13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- 就業規則、賃金規程、３６、３２、２４協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- 育児休暇、介護休暇について制定
- 退職金規程を制定
- 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置

14. 児童・職員の健康管理

- 園児の健診については年に２回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- 職員の健康診断は４月、５月、６月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した
- 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した
- 特別休暇（防疫特別休暇・ワクチン接種休暇）が付与され、スタッフが安心して勤務ができる体制が整えられた。
- スタッフの健康管理は、本社から確認メールが配信され日々の体温、体調を管理していった。

15. 安全安心に対する取組

(1) 事故の防止策と対応策

- 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- １年に１度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- 毎日９：３０に出欠席の確認をおこない、登園確認の徹底をしていった。
- 戸外、園庭に行く際は人数確認をおこない、点呼の徹底をしていった。
- ９月に救命救急研修を全スタッフが受講した。

(2) 不審者対策

- 不審者対策を目的とした避難訓練を年に１回以上実施した
- 不審者対応マニュアルにて研修を実施した

・　１年に１度マニュアルの見直し・改定をおこなった

(3)　防火・防災対策

・　毎月避難訓練および消火訓練を実施した
・　消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に２度実施した
・　危機管理マニュアルにて研修を実施した
・　１年に１度マニュアルの見直し・改定をおこなった

16．虐待防止の取組

・　児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
・　希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した

17．給食に対する取組

・　給食マニュアルにて研修を実施した
・　物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
・　年に２回全体研修をおこない、スキルアップを図った
・　幼児クラスの食育をクラス担当を決めて、食育指導だけでなく喫食状況の確認も密に関われるように行った。